

MDP

SaganTosu

MATCHDAY PROGRAM

12.8 (日)

GK 31

岡本 昌弘
Masahiro OKAMOTO14:00 KICK OFF
vs ジュビロ磐田

© 2015 JUBILO

追

「引退を発表したからといって何も変わらない」。プロサッカー選手として残された時間があとわずかになっても岡本昌弘はいつもどおりだった。「いつ辞めてもいいような毎日を過ごしてきたつもりだし、いまも過ごしているので大丈夫です」。日々を悔いを残さないように過ごす。簡単なようでそれは難しい。しかし、23年というキャリアは岡本が一日、一日を全力で過ごしてきた証だろう。3年間、ともに切磋琢磨し、互いを支え合ってきた朴一圭は「ぐっぴーさん(岡本の実称)は、誰よりも早くクラブハウスに来ていますし、最後に帰る。良い状態で練習に臨むための準備を怠らないし、それを3年間、やり続けてきた。意識を持って取り組むことの大切さを学びました」と尊敬の念を抱く。自らを厳しく律するバグですら一目を置く岡本の姿勢はまさにプロフェッショナルと呼ぶにふさわしい。

仮にこの試合のピッチに立つことになれば、岡本は16年ぶりにJ1のピッチに立つことになる。プロサッカー選手として迎える最後の試合。ピッチに立ちたい意欲は掻き立てられてもおかしくないが、それでも岡本の心境は変わらない。「試合には出たいですよ。でも、それは常に思ってきたこと。チームが勝つ、チームが一番良い結果を出すことが最優先なので、そのために僕はどの立ち位置でも全力を尽くすだけ」。最優先すべきはチームの勝利であり、自分のことはその次。岡本はその順番を絶対に間違えない。だからこそ、常に最善の準備をすることに全力を注いできた。「自分の好きなことをやって、仕事としてサッカーを続けられるというのは本当に幸せなこと。それを長く続けられた自分は本当に幸せだった」。幸せを噛みしめ続けてきた23年間はそのフィナーレを迎える。「しっかりと雰囲気と時間を噛みしめたい。1分1秒を大事にしたい。そして、勝って終わりたい」。毎試合、追い求めてきたチームとしての勝利。勝って笑顔で終わるために岡本は全力を尽くす。

積み上げてきた23年という“**笑顔のフィナーレへ、岡本は全力を尽くす**”
 “**全力の日々**”。


 佐賀県 presents

SAGANゼロカーボンチャレンジマッチ